

わくわく ときどき 楽しい授業

～児童文化手法を生かして～

1月31日(土)の、全国・都児童文化研究会研究発表大会に向け、当日の授業者と子供たちの顔合わせが始まっています。

『児童文化』は聞き慣れない言葉だと思いますので、簡単に紹介いたします。

児童文化手法は、大きく6つに分けられ、それぞれを授業にどのように生かせるのかを研究をしています。区・都・全国に研究会があり、活動しています。

学校劇の手法：劇遊び・ごっこ遊びなど即興的に自己表現する

童話の手法：語り聞かせ(素話)で自作の話や物語を伝える

ゲームの手法：ゲームに参加し、仲間意識を高めて興味・関心を引き出す

ダンスの手法：創作ダンスやリズムダンスなど、体全体で表現する

パネルシアターの手法：専用のペーパーをボードに貼り、課題や話を伝える

総合表現の手法：和太鼓や民舞運動表現など多様な表現方法を活用する

[パネルシアターで12支のお話]

[グループでダンスの動きを考える]



[童話部の先生と顔合わせ]

[学校劇の手法で国語の学習]

